

血液疾患と歩む患者・家族の会

まろまろ



会報 第9号 2008/12/9

● 恒例のバス遠足に出かけました

10月4日（土）、五所川原市の「津軽金山焼」へのバス遠足を行いました。高坂さんからのレポートでお伝えします。



当日は天気にも恵まれ、一時間ほどの道のりで、金山焼へ到着。早速、陶芸教室、ピザ作り、ストラップ作りと、各自希望していたコースへと散りました。参加者の多かった陶芸では、先生の話を見ながら聞きながら、どう作ろうかと頭を悩ませていました。始まると皆真剣な面持ちで、一途に粘土と格闘し、様々な芸術品がどんどん出来上がっていました。

そして、メインの？焼き肉会場へ！炭を熾すのにも一苦労しながら、熱い熱いと言いながらせっせと焼く人。ビール片手にまだかな？と見てる人。それぞれ、楽しみながらワイワイと盛り上がり、日本酒も出てきてさらにヒートアップしていき、気がつくともう終わりの時間。帰りにバスの前で記念撮影。このとき記憶がない人が数名いたとか。

こうして、今年もバス遠足が盛況の中終了です。また来年！



● 市民公開講座 ～ 第5回 骨髄移植を知ろう ～

with青森山田中学高等学校吹奏楽研究会「いのちのリレーコンサート」が開催されました

ブラスの音が鳴り響く。一瞬の沈黙の後、割れんばかりの拍手が起き、そして鳴りやまない。と言っても、ここは市民公開講座の会場。

「まろまろ」も後援として参加した第5回市民公開講座「骨髄移植を知ろう」は、9月20日に弘前市において開催されました。医療関係者によるセミナー、患者やドナー自身の体験談や、ジョイントしてくれた「青森山田中学高等学校吹奏楽研究会」のすばらしい演奏に、参加者の皆さんから寄せられた感想は・・・

「コンサートの学生さん方は爽やかで素敵でした。感動しました。」「弘前市で開催していただいたので、足を運びやすく良かったです。」「医療現場の声、体験談を聞き、感動しました。命の大切さを伝えるこういう機会をもっと多くの人に体験して欲しい。」「そして、「あらためてドナー登録への気持ちが高まりました。」などなど。

骨髄移植への理解の輪が広がっていくのが見えるような、うれしい反響でした。

→公開講座のDVDを提供していただきました。ご覧になりたい方は事務局までお問い合わせを。

● まろまろバス遠足

成田さんと佐藤さんの写真レポート

出発



お見送りは、留守番の久保部長。サミシ〜



晴れ



こんな出ましたあ



ピザ、出来ました！胃袋に消えました。



あとは、登り窯に祈るだけ

バーベキュー〜



ピンポン



大量の炭で、一気にヒートアップ！

ひたすら、焼きます



記憶がないのは誰でしょう？

◇ミニミニ学習会がスタートしました

「身近なテーマで、手軽な学習会を」ということで7月の総会で提案のあった「ミニミニ学習会」を始めました。

11月22日の第1回目は、県病8階西病棟の盛主任看護師にお願いし、「感染予防について」というテーマでお話いただきました。

これからも、行事のない月に開催していきたいと思いますのでよろしく。



●情報・相談投稿コーナー まろまろのもろもろルーム



●ご質問にお答えしますー骨髄バンクドナー登録についてー

骨髄バンク事業は、国の主導のもと、骨髄移植推進財団（骨髄バンク）が主体となって、日本赤十字社と地方自治体の協力により行われています。

ドナー登録は、日赤の献血ルームや一部の保健所で受け付けています。また、日赤の移動献血車でも登録は出来るのですが、普段は限られた数の採取キットしか積んでおらず、献血の説明を優先するので、バンクの登録は待ち時間が必要になったり、先送りされたりする傾向にあります。

そこで、骨髄バンクのボランティア説明員が献血会場にご一緒させてもらい、ドナー登録会をスムーズに行っています。

本県では、平成18年に有志が「青森県骨髄バンク登録協力会」を立ちあげ、ドナー登録のお手伝いをしています。現在、約20名の説明員が加入していますが、その半数は「まろまろ」会員です。春にはまた、説明員養成研修会があると思いますので、皆さんも是非ご参加ください。

（お問い合わせ先） 代表 前田基行氏 TEL090-2790-8817

骨髄バンク情報（H20年10月末現在）

	全国	青森県
患者登録者数	1,410人	14人
ドナー登録者数	323,440人	2,520人
対象人口千人あたり	5.07人	3.59人(40位)

－資料：(財)骨髄移植推進財団－



◇ご寄付いただきました◇
伊藤武則様
ありがとうございました。

●投稿

「全国骨髄バンク推進協議会東北ブロックセミナーの報告」

会員の柴谷春子さんからの投稿です。

東北六県のボランティア団体が年に一度、一堂に会するのが「東北ブロックセミナー」です。今年は10月18、19日の二日間、山形県で開催されました。開催にあたり会長の大谷貴子さんの「ボランティアができる患者支援のあり方について考えていただく機会にさせていただければ幸いです」と綴った挨拶があり、これからの活動の課題をいただいたような気持ちでした。

その後、チャリティーコンサート、基調講演などにたくさんの一般の方の参加もあり、会場は熱気であふれていました。

ブロックセミナーでは、「まろまろ」の設立から1年の活動をスクリーンに映し出しながら説明と報告をしてきました。参加した方々から「会員さんの笑顔がすばらしい」などなど・・・「まろまろ」への嬉しいお言葉をたくさんいただいて帰ってきました。来年は秋田県で開催予定です。是非皆さんの参加を希望いたします。

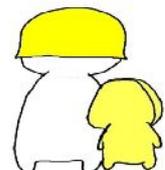
「あかもく」情報

ガバさんからの投稿です。

以前、投稿した「あかもく」について、新たな情報です。「あかもく」は海藻で、海の中の浄化作用も有るということで、青森では陸奥湾を綺麗にしようと養殖を手掛けている方もいらっしゃいます。前に紹介したように、「あかもく」には白血病のがん細胞を殺す働きがあると、三重大学で研究されています。

この「あかもく」は東北の北三県では昔から食用にされていたようです。特に、秋田の男鹿半島では春の名産品として数多く販売されています。ただし、名前は「ぎばさ」と言っています。仙台市でも「ぎばさ」という名前で、居酒屋さんでもメニューにあります。

私も現在は、男鹿半島のお店から取り寄せて、朝食に食べています。納豆がまだ解禁されていないので、ずるずる系の代わりとして食しています。なかなか美味しいですよ。生姜醤油や酢醤油で食べるのも美味しいですよ。酒の肴にもグー！ ガバ



● まろまろからのいろいろなお知らせ

◇まろまろクリスマス会のお知らせ

今年もプチ・クリスマス会をしましょう。
 チョットしたお菓子とお茶を用意します。
 入院中の方々も、お気軽においでください。
 またまた、サンタやトナカイくんが来てくれるという情報が入っていますよ。



日時 12月20日(土) 午後2時から
 場所 県病8階食堂

注! 第3土曜日です
 12月27日の定例会は
 お休みします。



◇2009年 新年会のお知らせ

恒例の新年会のお知らせです。
 皆さんふるってご参加下さい。

日時 : 平成21年1月31日(土) 午後6時
 場所 : 青森市古川
 サッポロビアレストラン910
 ハイパーホテル青森II 3階
 電話017(775)9100
 会費 : 3,500円

ご参加の有無は、同封のハガキでお知らせ下さい。
 1月16日(金)までに投函して下さい。



メーリングリストははじめました

小倉副部長が、まろまろ会員のメーリングリストを開設してくださいました。会員同士の情報交換にとっても便利です。
 未登録の方は下記までお知らせください。
 登録先のアドレスなどをお知らせいたします。

fwy2780@nifty.com

まろまろ「かわら版」はじめました

まろまろ「学習会・相談活動担当」の皆さんの編集で、談話会や学習会の様子など、その時々まろまろのニュースをお届けしています。
 県病の血液内科外来や病棟などに掲示していますので、ご覧ください。

血液疾患と歩む患者・家族の会 まろまろ
 <事務局連絡先> 青森県立中央病院 血液内科 外来
 TEL 017-726-8141 FAX 017-726-8083
 〒030-8553 青森県青森市東造道2-1-1



県病HP <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/hospital/kenbyo/ketsueki.html>
 ブログ <http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com>

